

Welcome To Japan! Welcome To Miyagi, Sendai!

ようこそ、宮城県へおいでくださいました。

宮城県知事の村井でございます。

LCWS2019の開催に当たり、開催地を代表して、一言、挨拶申し上げます。

本日から6日間にわたり、ここ宮城県を会場に、世界各国から研究者・技術者の皆様をお迎えして、LCWS2019が開催されますことは、大変喜ばしく、心より歓迎申し上げます。

また、御参会の研究者、技術者の皆様におかれましては、日頃から、ILCに関する研究や技術開発に真摯に取り組まれ、多大な貢献をされておりますことに、敬服いたしますとともに、心より感謝申し上げます。

さて、先般の台風19号は、日本各地に甚大な被害をもたらし、多くの尊い命が失われました。お亡くなりになられた方の御冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

2011年3月、東日本大震災により、ここ宮城県をはじめ、東北の太平洋沿岸一帯は、大津波に襲われ、未曾有の大災害となりました。

震災後は、国内外の皆様から、たくさんの御支援をいただきました。おかげさまで、私たちは、復興の道を着実に歩んでおります。この場をお借りして、深く御礼申し上げます。

自然は豊かな恵みをもたらす一方で、時として猛威を振るいます。人間の力は自然には及びません。

しかしながら、科学の力をもって、自然の脅威を和らげ、自然と人間が共生していく社会環境を作り出すことはできるはずだと、私は信じております。

宮城県は、震災から立ち上がるに際し、「創造的な復興」を掲げてまいりました。これは、単に、震災前の状態に復旧するだけでなく、将来を見据えて、震災を経験したからこそ成し得る事業、全国モデルとなる事業、民の力を最大限に活用する事業に取り組もうとするものです。

その一つとして、宮城県では、加速器プロジェクトを掲げ、次世代放射光施設やILCの誘致に取り組んでまいりました。

現在、2023年の稼働を目指し、次世代放射光施設の整備が進められており、加えて、北上山地にILCが誘致されますと、科学技術・産業技術の革新的振興が図られ、地域経済の持続的発展や東日本大震災からの復興、ひいては地方創生に大きく寄与するものと期待しております。

さらには、多くの研究者、技術者が集い、多様な文化や国境を越えた人々の交流は、未来を担う子どもたちの科学に対する知的好奇心を育み、大きな夢や希望を与えてくれるものと思います。

さて、ここ宮城県は、東は太平洋に面し、豊かな漁場と日本三景の一つ、特別名勝・松島などの風光明媚な観光地がございます。せっかくの機会でございますので、是非、宮城の美しい景色と海の幸、山の幸を存分に御堪能いただきたいと思っております。

結びになりますが、LCWS2019の開催にあたり、御尽力いただきました関係者の皆様に心から感謝申し上げますとともに、ILCの研究のさらなる発展、ならびに、御参会の皆様のみすますの御健勝を祈念いたしまして、挨拶といたします。